



6月28日火曜日、沼南保健センター2階会議室において「平成28年度第1回 柏市消費者教育推進連絡会」を開催しました。任期替えのため、新メンバーによる最初の会議です。

### 今年度の委員をご紹介します



所属	氏名	所属	氏名
柏市立教育研究所	内田 守 所長	高田小学校	澤田 堂 樹 教諭
	宮内 竜 男 統括リーダー	柏中学校	鴫 巢 寿 教諭 (社会)
	深野 政 美 消費者教育担当指導主事	富勢中学校	吉澤 朋 美 教諭 (英語)
柏第三小学校	金野 千 佳 教諭	柏第三中学校	生田 史 恵 教諭 (家庭)
柏第四小学校	八戸 桃太郎 教諭	西原中学校	深野 剛 教諭 (理科)
柏第六小学校	竹内 祥子 教諭	風早中学校	戸嶋 依里 教諭 (数学)
光ヶ丘小学校	工藤 拓磨 教諭	柏市立柏高等学校	古川 真伍 教諭 (社会)
富勢小学校	眞田 英里子 教諭	千葉県立 柏の葉高等学校	佐藤 一 樹 教諭 (情報)
酒井根小学校	渡邊 夕 貴 教諭		

### 今年度の活動（予定を含む）です



- 第1回会議 6月28日(火)14:30～16:30 沼南保健センター・・・自己紹介, 研修①

終了 ※研修内容を裏面でご紹介しています

- 第2回会議 11月1日(火)14:30～16:30 柏市役所沼南庁舎・・・研修② グループワーク

「各教科から消費者教育を見つけよう」 講師:教育研究所 深野 政美 指導主事

- 第3回会議 2月下旬 ……消費者教育の視点を持った公開授業及び研究協議会



## 社会参画の力を育む消費者教育

—イメージマップで消費者教育のイメージを広げよう—

講師：関東学院大学経済学部准教授

天野 恵美子 氏

[専門] マーケティング論, 消費生活論 商学博士

「子どもの権利とマーケティング・広告検討委員会」委員

(6月28日 第1回連絡会での研修から)

### 子どもを取り巻く消費環境の変化

- 少子高齢化・・・子どもは「子ども中心」の家庭生活「6ポケット」(両親+両祖父母に下支えされた物質的に豊かな消費)という環境にあり購買力, 影響力が上昇している。そのため, 子どもをターゲットとするビジネスが多様化, 活性化している。
- 市場では, 子どもも一人前の消費者として扱われ, 巧みなマーケティングにさらされている。
- 未熟ながら消費者の顔を持つ子どもは事業者との取引で様々なトラブルに遭っている。
- 企業による学校への出前授業が増えている。子どもが一生懸命話を聞く学校では広告・マーケティング効果大きい。

### 消費者教育の必要性

#### ●消費者被害は、いつでも、どこでも、誰にでも、突然に発生する

【例】牛乳を飲んだら危険な成分が混入, エレベーターに挟まれて死亡, おやつゼリーを食べて窒息, 家庭用シュレッダーで指を切断, ホテルで食べた料理は残置物, お金を借りたが返せない, 等々。

#### ●消費者被害の未然防止と消費者市民の育成が消費者教育の目的である

- 消費者と企業の取引はアマチュア対プロフェッショナルである。
- 消費者は, 2004年の消費者保護基本法から消費者基本法への転換によって, 保護される立場から自立を求められる立場となった。

### 消費者教育推進法による日本の消費者教育

【1】 買い手としての意思決定能力を養う

【2】 市民としての自覚と行動力を養う

※現状では消費者教育の質・量ともに不足があり, マーケティングの力が勝っている。

### 企業規制と学校での消費者教育・・・北欧を例に

北欧では, 12歳未満の子どもに対する広告が一切禁止されている。一方, 学校でも「広告はどうのようにして欲しがらせるか」「その商品を買う必要があるのか」といった消費者教育を徹底的に行っている。日本においても, 年内に「子どもに影響のある広告及びマーケティングに関するガイドライン」が発表される予定だ。過度なマーケティングを規制する動きが今後強まるので, 現場の先生方一人一人にも, 子どもの生活に根ざした様々なテーマを題材とした消費者教育を, 力強く進めていただきたい!